

# 2018年（H30）沸騰地熱塾

## 1. 目的

沸騰地熱塾は、地熱資源を活かしたまちづくりを、官民連携で進めていくことを目的として開催する。

## 2. 実施概要

沸騰地熱塾開催状況は以下の通りである。

回	日時	内容	参加人数
1	H30.8.8(水)	第2期沸騰地熱塾について まちづくりの関心事共有、意見交換、今後の進め方	延べ52名
2	H30.9.5(水)	テーマ別検討(コンセプト・背景・目的・概要・など)	
3	H30.10.10(水)	テーマ別検討(取組みの検討)	
4	H31.1.12(土)	事業報告会にて、活動発表	

## 3. 結果

### 3.1 第1回沸騰地熱塾

#### (1) 開催日時・場所

8月8日(水)18時～20時

八幡平市役所多目的ホール棟多目的ルーム1



<第1回沸騰地熱塾の様子>

# 第1回 沸騰地熱塾

地熱を活かしたまちづくり  
あなたの想いを形にしよう

平成30年8月8日

八幡平市企画財政課

## 次第

18:00	「沸騰地熱塾」開講 あいさつ、事務局紹介
18:05	沸騰地熱塾について全体説明
18:20	自己紹介とまちづくりの関心ごとの共有
18:35	グループ分け
18:40	グループ別に分かれてWS（65分間）
19:45	WS結果共有
19:55	その他（次回の予定等）
20:00	終了

# 1. 沸騰地熱塾とは

- 市では、地熱を活用したまちづくりを官民が連携して進めるため「沸騰地熱塾」を開催します。
- 地熱を活用した様々な取り組みを推進するため勉強会です。
- 市では「沸騰地熱塾」を「八幡平市地熱を活かしたまちづくりビジョン」の重点プロジェクトに位置づけています。

3

## 2. 沸騰地熱塾の目的(ねらい)

地熱発電のふるさととして、地熱資源に関する知識を深めていく



地熱を活かした産業創出についてアイデアを持ち寄り、実現にむけて検討する



支援・補助金等活用しながら、試行・実践する



★新しい事業を起こす(産業創出)



雇用を生み出す⇒移住や定住の促進につなげる



### 3. 官民連携による地熱活用事例

年度	ジオファーム・八幡平(企業組合八幡平地熱活用プロジェクト)の取組	年度	八幡平スマートファームプロジェクトの取り組み
H26	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の推薦を受け経産省「地熱資源開発理解促進関連補助事業」補助金を活用し地熱熱水を活用したマッシュルーム生産ハウスと馬ふん堆肥生産ハウスを整備。</li> <li>9月：企業組合八幡平地熱活用プロジェクト設立6名(大阪3・滋賀1・岩手2)でスタート</li> <li>H27年2月：「八幡平マッシュルーム」初出荷(月間生産量約900kg)</li> </ul>	H29	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンリバーホールディングス、MOVIMASは岩手県・八幡平市と提携し耕作放棄・ビニールハウス再生事業に着手。</li> <li>次世代型の水耕栽培IoT制御システムで地域雇用創出・農家育成に取り組む</li> <li>初年度は、市が借り受けている熱水ハウス5棟のうち2棟をシステムトレーニング設備として整備し、バジルの栽培を開始</li> <li>バジル初出荷</li> <li>追加で3棟を整備し、地元雇用で新規就農者を受け入れ</li> </ul>
H27	<ul style="list-style-type: none"> <li>八幡平市と(株)ローソンの共同による地熱熱水利用農業の実証実験を管理受託</li> <li>ジオ・ベジの通年栽培生産体制確立に向けたデータ収集、およびジオ・ベジの販路拡大を目的とした加工品開発を実施。</li> </ul>	H30	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス向け高齢者住宅と連携開始</li> <li>YRP研究開発推進協会(YRP協会) WSN協議会*のWSN-IoT AWARD 2018 特別賞を受賞</li> <li>現在の地元雇用者は6名(社員1名、パート5名)</li> </ul>
H28	国内最大のマッシュルーム企業、芳源マッシュルーム株式会社と協力協定締結(当初メンバー5名、関東営業所1名、パート17名)	今後	<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点(7月)でも2棟の改修が進んでいる</li> <li>本事業におけるバジルの生産規模は拡大の方向に進んでおり、今後改修・整備が行われると50名以上もの雇用創出が見込まれている。</li> <li>八幡平市ふるさと納税返礼品としても検討中</li> </ul>
H29	<ul style="list-style-type: none"> <li>マッシュルーム生産拡大と馬ふん堆肥・マッシュルーム堆肥の周知拡大を目指している。</li> <li>H29年度 目標生産70トン→H31年度 目標生産100トン以上</li> </ul>		



5

### 4. 検討テーマ

## 第2期沸騰地熱塾では みんなの想いがテーマになります

胸を張って子供に農業を継がせたい!  
稼げる農業がしたい

競走馬のセカンドキャリアを確保したい!  
馬文化を広めたい

地元農産物を使った料理を知りたい  
⇒地産地消の暮らしがしたい

八幡平発の美味しいヨーグルトを食べたい!  
乳酸菌の発酵に温泉熱はつかえない?  
どうせなら八幡平初のクラフトビールもほしい

セカンドライフを満喫したい!

地熱発電のふるさと八幡平市をもっとPRして、盛り上げたい

この後、各自に想いを語ってもらい、塾生で検討テーマを決定します。25年後、50年後にありたい私や私の家族、わたしのまち八幡平市の姿など

6

## 5.全体スケジュール

1 8/8(水) 18時～20時 市役所本庁舎 多目的ホール棟  
グループ分け、進め方整理 多目的ルーム1

2 9/5(水) 18時～20時 市役所本庁舎 多目的ホール棟  
多目的ルーム1  
テーマ別検討 ※必要に応じて現地見学等も実施します

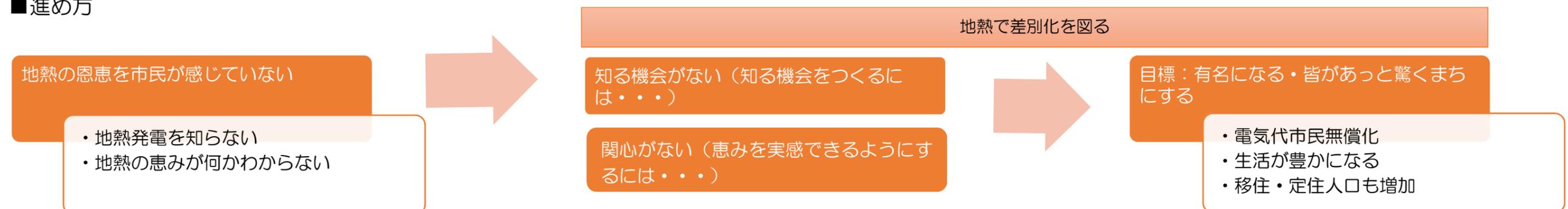
3 10月(日程後日決定)  
テーマ別検討 ※必要に応じて現地見学等も実施します

4 発表 11月開催予定  
終了式、活動発表

- 1) 上記は全体のスケジュールとなります。テーマごとに必要に応じて中間で話し合いや作業を進めます。
- 2) 第4回は、市が開催予定の事業報告会での活動報告となります。

こんな八幡平市になってほしい		そのために必要な事
山本和範	<ul style="list-style-type: none"> <li>NHK に取り上げられる、八幡平市舞台にした映画などによりもっと有名になってほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像化を図る</li> <li>プロジェクトXに取り上げられるようなまちになる</li> <li>著名な監督による八幡平を舞台にした映画づくり(新海誠監督や世界的に技術者など)</li> <li>メディアに取り上げられる機会を増やす</li> </ul>
羽沢望	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国的に有名な街、日本人全員が知っているまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>八幡平市にしかない珍しい施設やイベント、人やモノ</li> <li>施設や見どころはあるが市内に点在している。集中化を図ることも一考。</li> <li>車がなくても回れるまち。</li> <li>八幡平市ならではのアクティビティがほしい ⇒ それなら地熱</li> <li>若い人にも注目されるような何か ⇒ 電気代がタダになる⇒移住者も増える</li> <li>市内の充電スポット無償化 ⇒ EV車が走るクリーンなまちになる。</li> </ul>
藤原渉	<ul style="list-style-type: none"> <li>スノーリゾート、ウィンタースポーツの聖地になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通年の人を呼び込むためにも、夏場のアクティビティがあるとよい(釣り・ヒルクライム・トレッキング等のほかに)</li> <li>降雪量を増やす</li> <li>バックカントリースキーを盛り上げる</li> <li>地元出身のオリンピックを増やす ⇒ 海外との交流を増やす(南半球や降雪が少ない国との交流(ルアンダとか))</li> <li>国際大会の開催や合宿を増やす</li> <li>外国人旅行者を増やす・増える</li> <li>インバウンドの方は長期滞在の方が多い、無料バスなどに乗りまちに誘導する。⇒ナイトエコノミー、八幡平市の食や文化を知ってもらう</li> </ul>
川畑勝臣	<ul style="list-style-type: none"> <li>八幡平市の農業が「にぎやか」であってほしい</li> <li>施設農業(園芸)への若者の就農で「にぎやか」になってほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>栽培品目を増やす ⇒ 地元雇用の増加 ⇒ 6次化を図り商品化 ⇒ 産地のアピールになる</li> <li>周年栽培ができる環境を整える ⇒ 収入安定 ⇒ 就農者の増加 ⇒ 「にぎやか」な農業の達成</li> <li>IoTを使った新しい・珍しい農業技術の広める ⇒ インターンや体験農業者が増える ⇒ 就農者の増加</li> <li>オーナー制度を取り入れる ⇒ 八幡平市が身近になる、来街者も増加</li> </ul>
高橋彩斗	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い人がたくさんいて活気のあるまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者・子どもたちにとっての夢の国のような施設整備をすると、その場に雇用が生まれる</li> <li>年中利用可能な温泉・温水プールの整備(スポーツ合宿などで需要はある)⇒ 市民も健康増進が図れる</li> <li>雇用促進を図る</li> </ul>
海藤美香	<ul style="list-style-type: none"> <li>地熱発電によるエネルギーが無償で市民に供給され、クリーンエネルギーのまちとして国内外から視察が訪れるまち</li> <li>全国の初のチャレンジとして実施、成功したまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民に地熱発電を理解してもらう仕組みづくり(皆が知らない)</li> <li>エネルギーの自給自足を告知</li> <li>クリーンエネルギーの紹介</li> <li>地熱発電の出資制度をつくる</li> </ul>

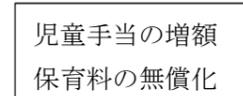
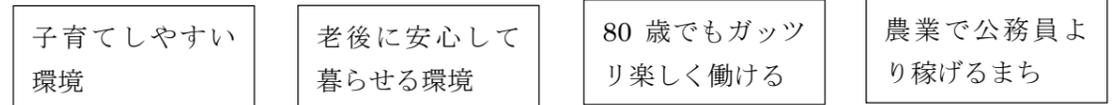
■進め方



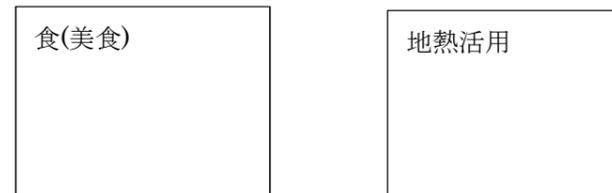
こんな八幡平市になってほしい	
金澤翔	● にぎやかな町
橋本拓也	● 子育てしやすい環境、老後に安心して暮らせる町
金田一捷誠	● 80歳でもガッツリ楽しく働けるまち
三浦拓	● 農業で公務員より稼げるまち
畑孝夫	● 自給自足ができるまち
柴田亮	● BIO ホテル(オーガニックとエコロジー認証)が立ち並ぶ東洋のセバスチャン(=美食のまち)

このために必要な事	
農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地熱で暖房、雪で冷房の大型施設のモデル化</li> <li>● 施設園芸への行政の支援</li> <li>● りんどう、ハウレンソウに代わる農産品の創出、ここでしかできないもの</li> <li>● JA 系統出荷以外の販売ルートの創出・確保</li> <li>● 農福連携のワイナリーや植物工場</li> <li>● 加工品が不足している</li> <li>● 地熱だからこそできるオーガニック農業の推進</li> </ul>
観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>● BIO ホテルのモデルとなる施設(七時雨山荘など)</li> <li>● 熱利用・雪利用でゼロエネホテルにする</li> <li>● BIO ホテルの先進地視察⇒海外のオーガニック市場の広がりを知る・体感する</li> <li>● 宿泊施設の宿泊と食事の分離の推進</li> <li>● ガストロノミー(温泉+食)</li> </ul>
食(美食)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域グルメ⇒ほうれんそうカレーなど</li> <li>● 料理専門学校の誘致</li> <li>● 地域おこし協力隊(三ツ星シェフを呼ぶ)</li> <li>● 遊休施設をレストランにしてシェフを呼び込む</li> <li>● ハーベストレストランの拡大発展⇒ハーベストレストラン監修のメニューの提供や常設レストラン(森乃湯などに)の開設</li> </ul>
ゼロエミッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地熱はゼロエミッションやSDGs の手段の1つになる</li> <li>● この地にしかないものを利用する(地熱)</li> </ul>
子育て・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童手当の増額</li> <li>● 保育料の無償化</li> <li>● 雇用の確保</li> </ul>

にぎやかなまち



雇用の確保・産業振興・自給自足ができる



### 3. 2 第2回沸騰地熱塾

(1) 開催日時・場所

9月5日(水)18:00~20:00

八幡平市役所多目的ホール棟多目的ルーム1



< 第2回沸騰地熱塾の様子 >

第2回沸騰地熱塾 WS グループメンバー 金澤翔・尾友恵美・柴田亮・松本侑子・相馬大介・橋本拓也・伊藤研

<b>コンセプト</b> 何を指す？		<b>背景・目的</b> なぜこの事業を行う？	
食で八幡平市を豊かにする スローライフをウリに八幡平に人をよぶ		豊富な食材をどうお金にするか、食は大事(八幡平ならではの)	
<b>概要</b> どんな事業を？ (分野： )			
<b>何を (what) 内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• いかにもは何か                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ バジル (バジルソース、バジル麺、ソースは大分、パウダーは盛岡/温度管理ができるハウス)</li> <li>➢ マッシュルーム</li> <li>➢ 温泉卵</li> <li>➢ オーガニック</li> <li>➢ エコ</li> </ul> </li> </ul>		
<b>誰に (who's) ターゲット</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ターゲットと情報の整理</li> <li>• 市内      • 国内      • 来日外国人</li> </ul>		
<b>どのように (how)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 食のセントラルキッチン化      • レストランの集約      • 泊食分離      • ホテルのキッチン、稼働率 UP (空き時間の活用)</li> <li>• 店を分かりやすく紹介する      • 有名シェフを呼ぶ、地元の料理研究家の活用</li> <li>• 熱を食材の乾燥に使う</li> </ul>		
<b>どこで (where)</b>			
<b>いつ (when)</b>			
<b>誰が：主体・協力者 (who)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 一定の環境をつくるのに使える部品関係の会社が多い</li> </ul>		
<b>他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 木材乾燥</li> <li>• 融雪利用</li> <li>• 硫黄分が強く使いにくい</li> </ul>		

機会の場、関心を高めるアイデア  
⇒事業として考えられること、協力者  
など

■農業  
ほうれん草  
ハーブ

■建設  
廃施設、未利用施設の活用

■観光  
温泉と観光のイメージがある  
滞在してもらおう仕掛け(来てもらうだけでなく宿泊してもらう)

■食  
そばが美味しい  
農産物 BC 品の加工、6次化  
ドライフルーツや乾燥野菜  
おしゃれな飲食店  
食品パッケージ

■PR

■その他

コンセプト何を指す？	背景・目的 なぜこの事業を行う？
有名なまちになる！ 元気にまちになる！	何でもあるけど八幡平市にしかないというものがない。地熱で差別化を図ろう！ 地熱の恩恵を感じていないのではないか？(知る機会がない・地熱の恵みを実感できず関心がない)
概要 どんな事業を？ (分野：食・観光・農業)	
何を (what) 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>温泉は地熱の恵み！「地熱グルメ」で観光客と市民が集まる、交流できるカフェ。地熱グルメの目的地とする。</li> <li>(市民はもちろん、来訪者・観光客も地熱の恵みを満喫してもらえるおしゃれなカフェを整備して「地熱グルメ」の集約化を図る)</li> </ul>
誰に (who's) ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>来街者、イベントに来た人(宿泊なし) ⇒地熱のまちをPR、また訪れたいくなる、知りたくなる</li> <li>観光客(宿泊あり) ⇒地熱のまちのPR</li> <li>市民 ⇒コミュニティスペース</li> </ul>
どのように (how)	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品展開                             <ul style="list-style-type: none"> <li>紫波町のオガールのように拠点となって地熱を活用したまちづくりを進める。</li> <li>そば…そばガレット(中身は地熱やマグマを想像させるもの)</li> <li>熱水ハウスで収穫されたバジルなどのハーブ類…冷却塔ソフトクリーム(バジル味、コーン部分は松川地熱発電所の冷却塔を模したもの)、ハーブティー</li> <li>限定品の販売(ここに来ないと買えない)</li> <li>将来的には北限のコーヒー栽培で収穫したコーヒーの提供やミントも活用</li> </ul> </li> <li>PR・訴求                             <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターを制作し、地熱関連商品、サービス等全てにマークを入れる。</li> <li>市半公認(非公式)キャラクターとして、多くの事業者等がフリーライセンスで使えるようにして拡散する。</li> <li>様々な場所に顔出しパネルを設置。(アナログ展開)</li> </ul> </li> <li>知る                             <ul style="list-style-type: none"> <li>地熱スポットのスタンプラリー(コンプリートしたくなる、行ってみたくなる)</li> </ul> </li> </ul>
どこで (where)	<ul style="list-style-type: none"> <li>カフェ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>地熱グルメの目的地となるような地熱が活用できる場所</li> </ul> </li> <li>他                             <ul style="list-style-type: none"> <li>空地でミント栽培(ミントは強く自生させると、繁殖力が旺盛)。森の湯付近。</li> <li>花：一面のミントの花(初夏～夏)をインスタ映えスポットとして楽しむ。</li> <li>葉：収穫⇒地熱利用で乾燥⇒ミントティーやミント関連商品(入浴剤・香草香料)へ展開。生でも利用可能</li> </ul> </li> </ul>
いつ (when)	未検討
誰が：主体・協力者 (who)	未検討



### 3.3 第3回沸騰地熱塾

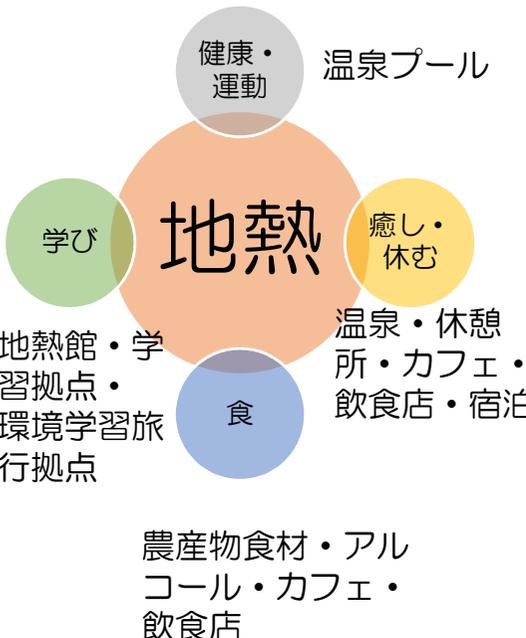
(1) 開催日時・場所

10月10日(水)18:00~20:00

八幡平市役所多目的ホール棟多目的ルーム1



< 第3回沸騰地熱塾の様子 >

コンセプト	方針	集約拠点では	その他の取組
<p>有名なまちになる</p>	<p>こだわりを持って、大きな思い切ったことをやる。</p> <p style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center;">シンボルとなる施設 (集約拠点)の整備</p> 	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、見る             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地熱を活用した施設や産業観光（展示・見学・体験）</li> </ul> </li> <li>2、学ぶ             <ul style="list-style-type: none"> <li>・年代に合わせた体験型学習</li> </ul> </li> <li>3、食べる             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地熱釜による調理体験、とれたて新鮮食材など、現地でしか食べられない・体験できない食の提供</li> <li>・インスタ映えメニュー</li> </ul> </li> <li>4、休む・健康             <ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉や足湯、温泉プール</li> </ul> </li> <li>5、遊ぶ             <ul style="list-style-type: none"> <li>・VR活用した自然体験型アトラクション（四季を感じてもらい、他の時期への誘客効果を図る）</li> <li>・夏シーズンの・・・</li> </ul> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、食材だけでない<b>バジルの可能性</b>の研究             <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒食材としての有能性検証</li> <li>⇒アロマオイルなど、ハーブが持つ癒し効果の検証など</li> </ul> </li> <li>2、<b>学習プログラム</b>の確立             <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒地熱関連・地域に特化した学習プログラムの構築</li> <li>⇒八幡平市の歴史・文化も交えた、環境学習旅行の受け入れ・仕組みづくりなど</li> </ul> </li> <li>3、<b>「誰でも温泉」</b>の仕組みづくり             <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒外国人も入りやすい温泉</li> <li>⇒LGBTであっても、タトゥーが入っていても誰もが楽しんで入れる温泉</li> </ul> </li> </ol>

コンセプト	方針	取組	取組のために
<p>若者が住み続けたいまち・住みたいまち 戻ってくるまち・住みたいまち</p>	<p>■豊かな暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレスが少ない</li> <li>・食べ物が美味しい</li> </ul> <p>1、地産地消</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそも地元での販売が少ない ⇒地元での消費を促す</li> <li>・地元で食べる（店・自宅）</li> <li>・観光客が八幡平で味わう</li> </ul> <p>2、食材</p> <p>山ぶどう、杜仲茶ポーク、八幡平サーモン、マッシュルーム、ホウレンソウ、八幡平牛、バジル、味付き卵</p>	<p>地産地消の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライ製品開発</li> <li>・地元飲食店を応援する仕組み</li> <li>・月限定、地場メニューの開発</li> <li>・学校給食での利用</li> <li>・地域商品券（地域通貨）による地域内循環を図る</li> <li>・オシャレさを追求する</li> </ul> <p>食材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乾燥などの加工</li> <li>・食材提供が多い ⇒八幡平〇〇などネーミングの検討</li> <li>・ご当地メニュー開発（キノコラーメンやアイスクリームなど）</li> </ul>	<p>■既存の活用、取り組みを参考にする ⇒地元食材提供旅館や飲食店 ⇒他地域での加工事例など</p> <p>■温泉・温泉熱の活用 ⇒ハウス栽培など、施設栽培を増やし、周年栽培を可能にする。 ⇒雇用の場を増やす</p>

### **3. 4 第4回沸騰地熱塾**

(1) 開催日時・場所

平成31年1月12日(土)18:00~19:45

八幡平市役所大ホール



## 第2期沸騰地熱塾

# 八幡平 集約拠点施設の検討

何でもあるけど・・・

八幡平市にしかないもの  
で、有名に・元気になろうよ



メンバー 海藤美香 川畑勝臣 澤口仁美 田口洋二  
高橋彩斗 羽沢 望 藤原 渉 山本和範  
伊藤優希 山口 樹



### メンバーの想い：こんな八幡平市になってほしい



全国的に有名な街、日本人全員が  
知っているまち

NHKに取り上げられる、八幡平市を舞台に  
した映画などによりもっと有名になってほしい

スノーリゾート、ウィンタースポーツ  
の聖地になる

若い人がたくさんいて活気のあるまち

八幡平市の農業がもっと「にぎやか」になる



地熱発電によるエネルギーが無償で市民に供給され、  
クリーンエネルギーのまちとして国内外から視察が訪れ  
るまち

● そのためには・・・どうしたらいいの？

何でもあつけど**八幡平市**にしかないという  
ものがない。

地熱で差別化を図ろう！

でも、地熱の恩恵を感じていない？

知る機会もないし、地熱の恵みを実感できる身近な  
施設もないから実感がわかない！関心もない！

**温泉**は地熱の恵み。



**食**ならわかりやすい・  
実感しやすい。

● 私たちの検討結果

こだわりを持って、大きな思い切っ  
たことをやる。

「**地熱**」で、観光客と市民が集ま  
る・交流できるシンボルとなる  
施設（集約拠点）の整備



# 検討経過

概要 どのような事業を? (分野: 食・観光・農業)

何を (what) 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>温泉は地熱の恵み! 「地熱グルメ」で観光客と市民が集まる、交流できるカフェ。地熱グルメの目的地とする。</li> <li>(市民はもちろん、来訪者・観光客も地熱の恵みを満喫してもらえるおしゃれなカフェを整備して「地熱グルメ」の集約化を図る)</li> </ul>
誰に (who's) ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>来街者、イベントに来た人 (宿泊なし) ⇒地熱のまちをPR、また訪れたいくなる、知りたくなる</li> <li>観光客 (宿泊あり) ⇒地熱のまちのPR</li> <li>市民 ⇒コミュニティスペース</li> </ul>
どのように (how)	<ul style="list-style-type: none"> <li>紫波町のオガールのように拠点となって地熱を活用したまちづくりを進める。</li> <li>商品展開                     <ul style="list-style-type: none"> <li>そば…そばガレット (中身は地熱やマグマを想像させるもの)</li> <li>熱水ハウスで収穫されたバジルなどのハーブ類…冷却塔ソフトクリーム (バジル味、コーン部分は松川地熱発電所の冷却塔を模したもの)、ハーブティー</li> <li>限定品の販売 (ここに来ないと買えない)</li> <li>将来的には北限のコーヒー栽培で収穫したコーヒーの提供やミントも活用</li> </ul> </li> <li>PR・訴求                     <ul style="list-style-type: none"> <li>キャラクターを制作し、地熱関連商品、サービス等全てにマークを入れる。</li> <li>市半公認 (非公式) キャラクターとして、多くの事業者等がフリーライセンスで使えるようにして拡散する。</li> <li>様々な場所に顔出しパネルを設置。(アナログ展開)</li> </ul> </li> <li>知る                     <ul style="list-style-type: none"> <li>地熱スポットのスタンプラリー (コンプリートしたくなる、行ってみたいくなる)</li> </ul> </li> </ul>
どこで (where)	<ul style="list-style-type: none"> <li>カフェ</li> <li>他                     <ul style="list-style-type: none"> <li>空地でミント栽培 (ミントは強く自生させると、繁殖力が旺盛)。森の湯付近。</li> <li>花: 一面のミントの花 (初夏~夏) をインスタ映えスポットとして楽しむ。</li> <li>葉: 収穫⇒地熱利用で乾燥⇒ミントティーやミント関連商品 (入浴剤・香草香辛料) へ展開。生でも利用可能</li> </ul> </li> </ul>
いつ (when)	未検討
誰が: 主体・協力者 (who)	未検討



## 観光客と市民が集まる、交流できる施設「地熱カフェ」?

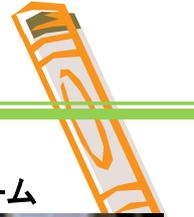
まずは地熱グルメを開発する?

整備 (拠点) ・拠点づくりの必要性を考える?





## 個性的すぎるご当地ソフト・・・



道の駅「サラブレッドロード新  
冠」の「ピーマンソフトクリーム」



キューサイの  
青汁ソフトクリーム



青汁ソフトクリームまで。怖いもの見たさで食べてみる？  
カキフライが刺さっていたり、  
キュウリが刺さっていたりご当地ソフトは個性派ぞろい

群馬・赤城高原の「トマQソフト」



バジルソフトク  
リームだっていけ  
るよね！



岡山・日生の「カキフライソフト」



## 検討結果詳細



コンセプト

有名なまちになる

方針

シンボルとなる施設の整備

地熱館  
学習拠点  
環境学習旅行拠点

学び

地熱

癒し・  
休む

温泉  
休憩所  
カフェ  
飲食店  
宿泊

食

農産物食材  
アルコール  
カフェ・飲食店

健康・  
運動  
温泉  
プール



## 施設でできること

### 1、見る

- ・地熱を活用した施設や産業観光（展示・見学・体験）

### 2、学ぶ

- ・年代に合わせた体験型学習

### 3、食べる

- ・地熱釜による調理体験、とれたて新鮮食材など、現地でしか食べられない・体験できない食の提供
- ・インスタ映えメニュー

### 4、休む・健康

- ・温泉や足湯、温泉プール

### 5、遊ぶ

- ・VR活用した自然体験型アトラクション（四季を感じてもらい、他の時期への誘客効果を図る）
- ・夏シーズンのアクティビティ（ジップライン・自転車など）

## その他の取組み

### 1、食材だけでない**バジルの可能性**の研究

- ⇒食材としての有能性検証
- ⇒アロマオイルなど、ハーブが持つ癒し効果の検証など

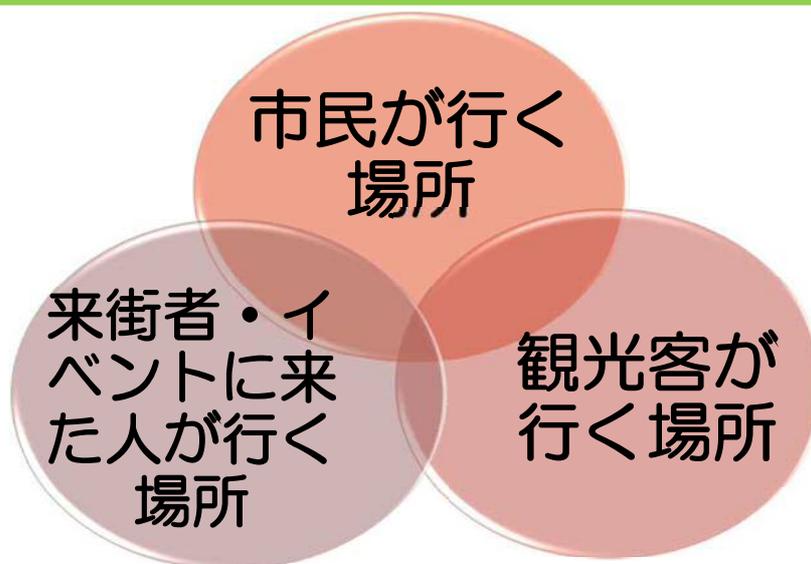
### 2、**学習プログラム**の確立

- ⇒地熱関連・地域に特化した学習プログラムの構築
- ⇒八幡平市の歴史・文化も交えた、環境学習旅行の受け入れ・仕組みづくりなど

### 3、「誰でも温泉」の仕組みづくり

- ⇒外国人も入りやすい温泉
- ⇒LGBTであっても、タトゥーが入っていても誰もが楽しんで入れる温泉

## シンボル拠点がこうなってほしい・・・



そして、誰もが知っている、  
来たくなる、住みたくなる**有名なまち**になる



## 第2期沸騰地熱塾

## 八幡平スローライフのすすめ

食が八幡平市を豊かに・・・する

メンバ  
ー  
|

金澤翔	金田一捷誠	柴田亮	橋本拓也	畑孝夫
三浦拓	尾友恵美	松本侑子	相馬大介	伊藤研
渡辺啓奈	上野聖羽	工藤竜也		

●メンバーの想い：こんな八幡平市になってほしい

にぎやかなまち

子育てしやすい環境、  
老後に安心して暮らせる町

80歳でもガッツリ楽しく働け  
るまち

農業で公務員より稼げるまち

自給自足ができるまち

BIOホテル（オーガニックとエコロジー認証）  
が立ち並ぶ東洋のセバスチャン（＝美食の  
まち）

## ● そのためには・・・どうしたらいいの？

### 食（美食）

- 地域グルメの開発（ほうれんそうカレーなど）
- 料理専門学校の誘致！

### 農業振興

- りんどう、ホウレンソウに代わる農産品の創出
- 6次化

### 観光

- 宿泊施設の宿泊と食事の分離の推進
- ガストロノミー（温泉＋食）

### 地熱・雪利用

- 地熱で暖房・雪で冷房の大型施設園芸のモデル化
- 熱利用・雪利用によるゼロエネホテル

● 雇用の確保と産業振興  
● 自給自足ができる そんな環境が必要だ！

## ● 私たちの検討結果

若者が住み続けたいまち・  
戻ってくるまち・住みたいまち

### 八幡平でスローライフ

八幡平市ならではの食を大事に、  
食が八幡平市を豊かに・・・する。



# 検討経過



概要 どんな事業を？

何を (what) 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>• いかにもは何か             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ バジル (バジルソース、バジル麺、ソースは大分、パウダーは盛岡/温度管理ができるハウス)</li> <li>➢ マッシュルーム</li> <li>➢ 温泉卵</li> <li>➢ オーガニック</li> <li>➢ エコ</li> </ul> </li> </ul>
誰に (who's) ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ターゲットと情報の整理</li> <li>• 市内      • 国内      • 来日外国人</li> </ul>
どのように (how)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 食のセントラルキッチン化    • レストランの集約</li> <li>• 泊食分離</li> <li>• ホテルのキッチン、稼働率UP (空き時間の活用)</li> <li>• 店を分かりやすく紹介する</li> <li>• 有名シェフを呼び、地元の料理研究家の活用</li> <li>• 熱を食材の乾燥に使う</li> </ul>
誰が：主体・協力者 (who) 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 一定の環境をつくるのに使える部品関係の会社が多い</li> <li>• 木材乾燥      • 融雪利用      • 硫黄分が強く使いにくい</li> </ul>

## 八幡平スローライフ



豊富な食材を どうお金にする？

どうしたら八幡平市に人を呼び込める？

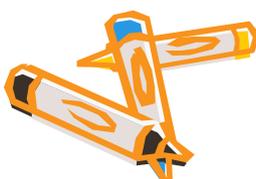
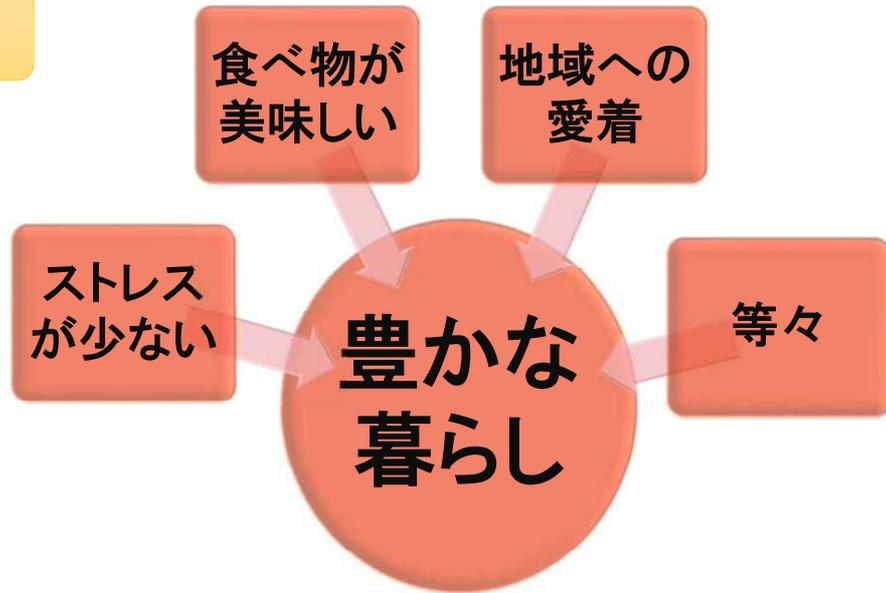


# 検討結果詳細

コンセプト

若者が住み続けたいまち・  
戻ってくるまち・住みたいまち

方針



## 取組み

## そのためには

### 1. 地産地消の促進

- ・そもそも地元での販売が少ない  
⇒地元での消費を促す
- ・地元で食べる（店・自宅）
- ・観光客が八幡平で味わう

- ・ドライ製品開発
- ・地元飲食店を応援する仕組み
- ・月限定、地場メニューの開発
- ・学校給食での利用
- ・地域商品券（地域通貨）による地域内循環を図る
- ・オシャレさを追求する

### 2. 食材の活用

山ぶどう、杜仲茶  
ポーク、八幡平サーモン、マッシュルーム、ハウレンソウ、八幡平牛、バジル、味付き卵

- ・乾燥などの加工
- ・食材提供が多い  
⇒八幡平〇〇などネーミングの検討
- ・ご当地メニュー開発（キノコラーメンやアイスクリームなど）

### ■既存の活用、取り組みを参考にする

- ⇒地元食材提供旅館や飲食店
- ⇒他地域での加工事例など

### ■温泉・温泉熱の活用

- ⇒ハウス栽培など、施設栽培を増やし、周年栽培を可能にする。
- ⇒雇用の場を増やす

● 八幡平市がこうなってほしい・・・

---

若者が住み続けたいまち・  
戻ってくるまち・住みたいまち

のんびりと過ごしながら、人生を楽しみ、生活の質を高める

八幡平でスローライフ